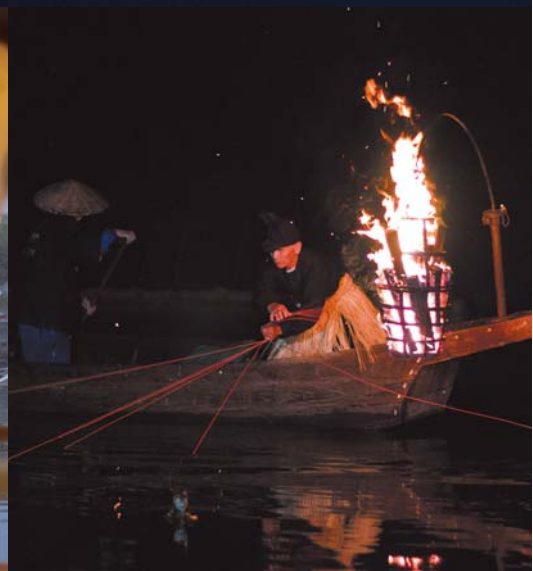


Iwakuni City Topics

まちの話題

夏の風物詩
「錦帯橋のう飼」始まる

7月1日、錦帯橋近くの錦川で「錦帯橋のう飼」が始まりました。
夕方から降り出した雨で川面には霧が広がる中、上流からかがり火をたいた鵜舟が現れると辺りは幻想的な空間となりました。新型コロナウイルスの影響で1カ月遅れた開幕を待ちわびていた遊覧客は、鵜匠が巧みに鵜を操り、アユを捕らえる様子に魅了されていました。
水上からの美しい景色を楽しみながら遊覧する「錦帯橋のう飼」は9月10日まで行われます。





歯磨きゴシゴシ！ ばい菌ばいばい！

6月11日、ほんごう保育園で母子保健推進員による歯磨き指導が行われました。

園児たちは、布地に描かれた口の中にいるばい菌に歯ブラシを当て「ゴシゴシ！」と大きな声で言いながらきれいに磨いていました。その後、歯の大切さを紙芝居で学び、園児たちは真剣なまなざしで聞いていました。



花いっぱい 花壇作り

6月12日、由宇駅周辺で由宇中学校のボランティア生徒と教育会由宇支部が、14日は由宇総合支所前で婦人会と生活改善実行グループが花壇作りを行いました。多くの人の善意できれいになった彩り豊かな花壇は、閉塞感を感じるコロナ禍において道行く人の気持ちを和ませてくれています。

Iwakuni City Topics | まちの話題



聞こえるね、あそこにおるよ！

6月17日、錦町の宇佐地区でバードウォッチング教室が開催され、宇佐川小学校の児童や地域住民が参加しました。参加者は鳥のさえずりを頼りに双眼鏡をのぞき、15種類の鳥を見つけることができました。宇佐川小学校は、旧宇佐小学校が昭和49年から続けてきた愛鳥活動の伝統を受け継ぎ、年2回観察会を行っています。



泥んこになって農業の大変さを学んだよ！

6月14日、周東町の修成小学校の児童が学校近くの水田で田植え体験をしました。1～4年生は手植えのみ、5・6年生は、手植えの後、機械植えに挑戦しました。最初ははだしで水田に入ること戸惑っていた児童らも、地域の皆さんの指導により、次第に田植えのこつをつかみ、泥の感触も楽しめるようになりました。



江戸時代の玖珂町に 思いをはせて

6月23日、玖珂こどもの館で玖珂まち生涯大学が開催されました。

玖珂の歴史を学ぶ会代表の田中良和氏を講師に招き、江戸時代の玖珂三市と玖珂村の暮らしについての講義が行われました。受講生は、現在の町並みの理由や当時の宿場町としての暮らしぶりなど郷土の歴史についての話に熱心に耳を傾けていました。



来年の開花を楽しみに

6月21日、吉香公園でハナショウブの苗の無料配布が行われました。当日は、この催しのために株分けした600株の苗をポットに準備し、苗の育て方の説明書を入れて配布しました。用意した苗は配布開始から20分で残りわずかとなるほど盛況で、訪れた人の中には熱心に職員に育て方を確認する姿もありました。



自分好みに染めてみよう！

6月29日、美川コミュニティセンターで草木染め教室が開催されました。参加した人は、ビワやクワなどの生葉から煮出した赤や黄、オレンジ色の染液にシルクのスカーフを入れ、自分好みの色に染めました。自然が生み出す味のある色合いに「こんなに良い色が出せるなんて」などの声が上がっていました。



きらきらの 手作りアクセサリ

6月28日、ハーモニーみわでステンドグラス体験教室が開催されました。色とりどりのガラス玉や破片をハンダ付けし、ペンダントやブローチなどを作りました。受講生からは「初めての経験でとても楽しかった。思い描いていた形にするのは難しかったけど、上手に作れて満足」と、楽しんでいる声が聞かれました。